

第20回 日本子ども健康科学会

(子どもの心・体と環境を考える会)

(<http://www.jshsc.jp>)



健やか親子21

後援：厚生労働省 文部科学省
千葉県教育委員会 千葉市教育委員会 千葉県小児科医会 千葉県小児保健協会

テーマ

教育・医療・地域の連携で育てる子どもたちの心と体

日時：平成30年12月8日(土)・9日(日)
場所：千葉大学西千葉キャンパスけやき会館
大会長：下条直樹(千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
参加費：会員4000円、非会員5000円 学生無料
抄録集1000円 懇親会 3000円

プログラム

8日(土) 11:30受付開始

基調講演：12:20~13:00
学校教育は誰のため、何のためか
- 20世紀初頭の「新教育」と現代の教育をつなぐ -
千葉大教育学部教授・附属小校長 片岡洋子

シンポジウム1：13:10~15:40
<子どもたちを取り巻く環境をどうするか>
・エコチル調査でわかってきたこと
予防医学センター 山本緑
・健康に育つ遊びの環境とは
公園・園庭・校庭、自然環境等のこれからの方向
千葉大学園芸学部 木下 勇
・子どもの貧困と健康
千葉大学予防医学センター 近藤克則
・いま手の中にある機器
~ゲーム使用障害の子どもたちの実態~
久里浜医療センター 三原聡子
・子どもの睡眠負債が危ない 明治薬科大学 駒田陽子

一般演題：15:55~18:05

懇親会：18:20~19:45 (レストラン コルザ)

9日(日)

特別講演：9:00~9:45
・みんながつくる みんなの学校
- すべての子どもの学習権を保証する -
大空小学校初代校長 木村泰子

シンポジウム2：9:45~11:45
<発達障害児のための教育と医療の連携>
・学校での取り組み 元江戸川区立小学校教諭神尾敏幸
・学校と保護者が協力するために
NPO法人ちばMDエコネット 山田晴子
・養護教諭にできること 山武市立睦岡小学校 木原薫
・医師に求められる役割
千葉県千葉リハビリテーションセンター 永沢佳純
総合討論コメントーター 木村泰子

教育講演：11:55~12:35
・フィンランドのAnticipation Dialoguesの紹介
~発達障害疑い時や対立する連携会議での早期対話~
千葉県精神保健福祉センター 石川真紀

お昼休み(理事会)：12:35~13:45

シンポジウム3：13:45~15:45
<子どもたちの食を考える>
・新学習指導要領を踏まえた学校の食育
文部科学省健康教育調査官 横嶋 剛
・学校給食における食物アレルギー対応について
栃木市教育委員会 中田智子
・今どきの子どものお口事情
千葉県小児歯科医会 兼元妙子
・思春期におけるダイエットと拒食について
千葉大学教育学部 花澤 寿

閉会挨拶・次期会長挨拶：15:50~

お問い合わせ

千葉大学大学院医学研究院小児病態学内
第20回日本子ども健康科学会学術大会 運営事務局
五十嵐照美
鈴木 智子

〒260-8670 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1
TEL：043-226-2144 / FAX：043-226-2145
E-mail：t-ikarashi@chiba-u.jp